

## ▲▽海の道▲▽ 八幡浜～別府航路③

### れいめい丸に乗船 八幡浜港～別府港

#### ■ 八幡浜市で宇和島運輸の「れいめい丸」に乗船

海千山千

「愛らしい媛」と書いて愛媛。その昔、織物業の盛んな土地で、織物の能力に優れた女性が愛比売<sup>えひめ</sup>とよばれていたとか。男らしい殿と書いての地名はないが、明治時代になって廃藩置県が行われたときに、伊予国全域が愛媛県となった。

平地が少ない漁村だった八幡浜は、船が数多く出入りする天然の良港に恵まれ、その買出船による交易で発展し、取引の利益を埋め立てに充て、拡大した市街地でさまざまな産業を興した。

この四国・愛媛県～九州への玄関口として発展してきた八幡浜港の新しいフェリーターミナルから、宇和島運輸フェリーの新造船「れいめい丸」に乗船し、大分県別府港までの2時間50分の船旅を楽しみながら、現場で働く組合員の皆さんにお話しを伺った。

#### ■ 「れいめい丸」に乗り組む皆さんのコメント

##### ・ 坂本吉輝船長

趣味は音楽鑑賞です。休日はドライブ(家族サービス)で買い物などをします。

##### ・ 高砂凧沙三航士

趣味はダイビングで、ウインドサーフィンを楽しむ両親の影響が大きいです。休日は家でリラックスしています。

##### ・ 槇本紗弥香三航士

趣味はユーチューブで動物の動画を楽しんでいます。犬と猫を飼っているので、癒されています。

#### ■ 船内でのカタフリ

宇和島運輸株式会社には「れいめい丸」と「あけぼの丸」「あかつき丸」「おおいだ」の4隻があり、八幡浜港を拠点に、別府航路と臼杵航路の2つの航路を運航している。今回の取材は、6月に就航したばかりの「れいめい丸」。

出入港で忙しい船の業務の妨げにならないよう注意しながらの取材となり、現場組合員のみなさんに、ご協力いただきました。

出港時間20分前に乗船し、坂本吉輝船長に挨拶し、船橋の端っこで操船風景を撮影させていただきました。船橋で舵を握るのは、高砂凧沙三航士。礼儀正しく、船長へのアンサーバックも気合が入っていました。離岸後は屈託のない笑顔で取材に応じていただき、取材中に周りからは「凧沙という名前は、船に乗るべくして付けられた」と、説明が加えられました。高砂さんは「いつかは会社の女性船員の女子会を開いてみたい」と抱負を語ってくれました。

「海員だより」